

**答** サルモネラ・ワクチンがホルスタイン5000頭、アカバネ・ワクチンがホルスタイン5000頭と和牛1000頭分、どちらも1頭につき1000円の助成です。  
補助額は大きくありませんが、一つの呼び水の考え方もあり、今後検討します。

**町内産初妊牛へ助成** 農林 環境

**問** 初妊牛導入事業で町内産を対象にできないか。

**答** 今後、農協や普及センター等と連携を取りながら、町内の優良牛を保留する誘導対策を検討します。

**専属スタッフの養成** 農林 環境

**問** くずまき高原コーディネーター事業の内容は。

**答** 視察対応等の見直しや雇用創出も考慮し、今後は専属のスタッフを養成し、総合的な窓口として第3セクターや森林組合などの連携を深めながら、町の魅力や情報を発信する体制を整備するものです。

**学校統廃合や運営は** 教育 委員

**問** 統廃合や江刈小学校の老朽化などに対する考え方は。

**答** 地域から統合したいという声がない限りは、現状どおりの学校配置です。  
また、江刈小学校は木造で築後48年が経過し、修理等に対応しています。

**教員住宅の利用状況** 教育 委員

**問** 利用状況と建設計画は。

**答** 小中学校8校の教員住宅は39戸あり、22戸が利用されています。そのうち17戸は校長・副校長などが入居し、学校管理や地域とのコミュニケーションを図っており、5戸は一般へ貸し出しています。  
なお、機会あるごとに入居を要請していますが、半数以上の方は町外から通勤している状況です。  
また、建設については過疎計画の中で、25年度以降の設計と建設を計画しています。

**葛巻小の屋内プール** 教育 委員

**問** 施設内容と運営方法等は。

**答** 幼児から一般の方まで利用できるよう2階にも部屋をつくり、休憩や活動の見守りができるような施設を計画しています。  
初夏から秋口までの利用期間で、温水プールの熱源も葛巻に適したものを考えています。  
一般開放の運営内容については、今後検討します。

**特別  
会計**

3月10日

**生活習慣病の予防は** 国保 会計

**問** メタボリック・シンドロームなどの生活習慣病等に対する特定健康診査の受診率と向上対策は。

**答** 21年度は対象者が2925人に対し、受診者が1358人で受診率が46・4割。22年度は対象者2184人に対し、受診



特定健康診査の受診率向上を図るための手助けを行う保健委員

**健全運営への対策は** 国保 会計

**問** ①収納率の見込みは。  
②レセプト点検による医療費適正化の効果は。  
③医療費の軽減化に向けた取り組みは。  
④健全運営に向け、一般会計からの繰り入れなどの考え方は。

**討論(要約)**

**山岸はる美 議員**

今回の予算は住民に、視点をおいたものと思います。  
保育料の軽減策として5歳児について全額免除や医療費無料化の対象を小学生まで拡大され、子育てをする家庭に大きな支援であると思われれます。  
子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが全額公費で接種が可能になります。  
若者を応援する新婚ライフサポート事業も創設されました。  
基幹産業である畜産振興では、アカバネ病のワクチン接種が拡充。さらには、地域振興作物生産拡大事業では種子購入費への助成による規模拡大、遊休農地解消対策資源循環推進事業は遊休農地の解消とクリーンエネルギーの町がさらに一歩踏み出すことができると思います。  
3力年で進められてきた情報通信基盤施設が完成し、町と住民の情報が一つになり、安全・安心の町づくりがさらに一歩も二歩も進むと考えます。

**反対討論 なし  
賛成討論 2 議員**

**橋場 清廣 議員**

商工業の分野で、ものづくり・人材育成支援事業や住宅リノベーション事業を創設したことから研修への派遣支援、商品券の活用で地域経済の効果が期待されます。  
また、防災分野では、記録的な大雪災害を教訓に除雪機械を増設するとともに、備蓄用食糧や衛星電話など、まさに今、報じられている被災地での必需品である災害対策備品を整備するもので、消防署や警察署と連携した万が一の際への効果が期待されます。

**問** 田の沢水源地の水質と環境保全の観点から、水源付近のスペースを確保する考えは。  
**答** 水質基準は十分にクリアされていますが、水質の維持に向けたスペース確保については、今後検討します。

**葛巻簡水的环境保全** 簡易 水道

**水洗化の普及状況は** 農業 集排

**問** ①農業集落排水事業区域の加入率は葛巻地区で69・3割、四日市地区で74・1割となっているが、今後の見込みは。  
②町整備型浄化槽の普及状況は。

**患者や医師の動向は** 病院 会計

**問** ①診療の回数や時間の変更など、周知徹底を図るべきでは。  
②23年度の常勤医師の動向と、救急医療の指定病院として機能は果たせるか。

**答** ①現在は広報等を通じて行なっていますが、今後はくずまきテレビなども活用して、速やかな情報提供に努めます。  
②外科医師の派遣期間の満了に伴い、23年度からは外科の常勤医師が不在となります。後任は、県立病院から非常勤の医師を派遣いただき、診療を維持する予定です。  
救急患者への対応は現在でも当直の場合も含め、すべての診療科の医師が対応しており、支障はないと考えます。

救急患者への対応は現在でも当直の場合も含め、すべての診療科の医師が対応しており、支障はないと考えます。

そのほか、生活支援に重点をおいた予算を計上しており評価するものです。  
特別会計は、積極的な事業の推進と健全経営を望みます。  
総合計画に掲げられておりますように、住み続けたい町、誇りの持てる町を実現するため、町当局と議会が両輪となって、23年度の事業を積極的に推進すべきだと思います。